

平成18年度 国立大学法人等職員採用 (図書系)二次専門試験

小論文筆記問題

注意事項

1. 解答時間は正味1時間です。
2. 解答用紙の記入について
 - (ア) 解答は濃くはっきり書き、書き損じた場合は、解答の内容がはっきり分かるよう訂正してください。
 - (イ) 表側の各欄にそれぞれ必要事項を記入してください。
 - (ウ) 書ききれない場合は、裏面を使用してください。
 - (エ) 解答用紙には、受験番号、通知書番号、氏名及び解答以外は記入しないでください。
3. この問題集及び解答用紙は、持ち帰ることができません。なお、試験時間中に、この問題集を、切り取ったり、転記したりしないでください。
4. 下欄に受験番号等を記入してください。
なお、この問題集の余白は下書きに使用して差し支えありません。

第一次試験受験番号	第一次合格通知書番号	氏	名
-----------	------------	---	---

指示があるまで中を開いてはいけません。

問題

以下の【参考文献】をもとに、『大学図書館の空間作り』について、1,000文字程度（800～1,200文字）でまとめよ。

なお、四章程度の小論文でまとめることとし、かつ、次の3つのキーワード、【従来型図書館、電子図書館、図書館員の役割】を含め、初出にはアンダーラインを引くこと。

【参考文献】

情報の記録である資料は、いつでも利用できるように集められて、整理・保存されていなくてはならない。そのような機能を果たすものとして、人類は図書館を発展させてきた。図書館は記録媒体の違いや、資料の量の違いによって、また、時代や地域によって、いろいろな形態をとったが、資料の収集、整理、保存、利用というその基本的機能はすべて同じである。図書館こそは、人類の過去と現在を結びつけ、国や地域の違いを越えて、人と人とを結びつける「黄金の鎖」である。

（「図書館ハンドブック 第6版（2005）」より）